

生態毒性試験法セミナー

## 試験困難物質を対象とする 生態毒性試験について

2005.1.13 (10:20-11:20)

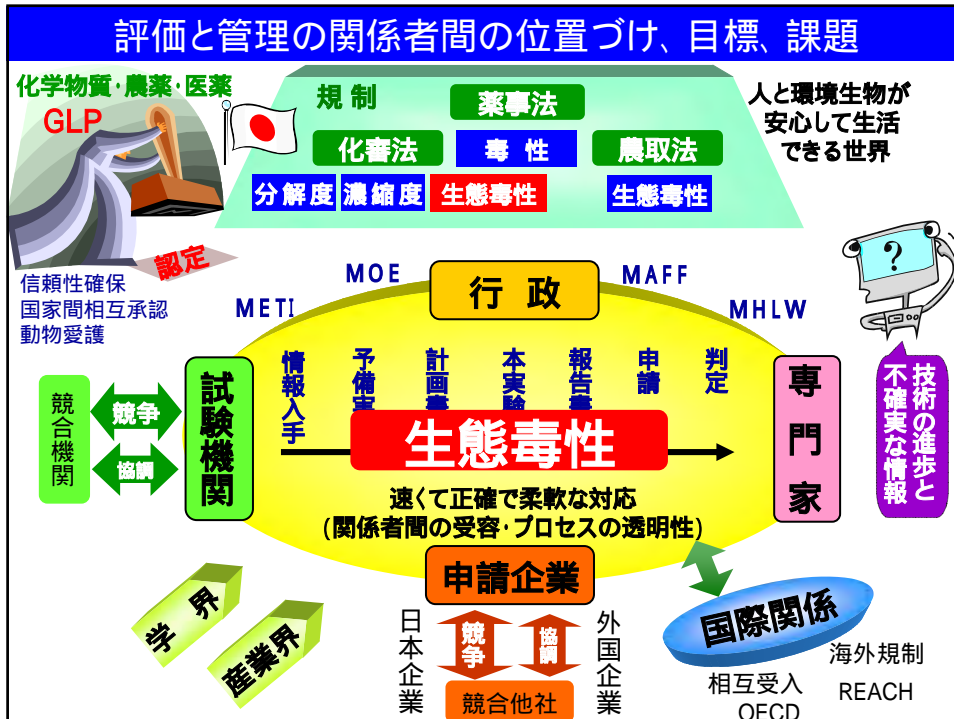
(株)三菱化学安全科学研究所 斎藤穂高

### 配布資料の確認

1. プロジェクター説明資料 全17スライド
2. テキスト P 9 - P 73
  - 2 - 1. OECD Guidance Document No.23  
原文対応仮和訳
3. テキスト P 74 - P 101
  - 2 - 2. OECD Guidance Document No.23 解説
4. テキスト P 102 - P 116
  - 2 - 3. 試験困難物質への対応方法

## セミナー内容

- ・ 評価と管理の関係者間の位置づけ、目標、課題
- ・ GD23制定までの経緯 ・目的(範囲)
- ・ 試験困難物質とは
  - ・ 化学物質特性と試験実施困難性との関連
  - ・ 困難物質の判定までの道のりは長い
  - ・ 100点満点の試験法は？
  - ・ 濃度維持はどこまで可能か (以上、プロジェクター説明)
- ・ テキスト 2 - 3 (資料にて説明)
- ・ 質疑応答



## GD 23 制定までの経緯

国外

国内

		1995年 環境庁 生態影響試験事業開始
1996年	英国環境省 困難物質の水生毒性試験に関するガイダンス出版 (G.D. 23の基礎)	
1996年9月	ECETOC 難溶性, 揮発性, 不安定物質の水生毒性試験についてのMonograph( 26)	
1998年4月	OECD 「試験困難物質及び混合物の水生毒性試験に関するガイダンス文書」 23のドラフト案作成	
1999年3月	上記G.D. 23ドラフト提示 各国コーディネーターに配布 日本を含む12カ国専門家・産業界からコメント ←	
2000年1月	改定ドラフト 回覧, 承認 (Revised Draft) ←	
2000年5月	最終版 承認 (9月作成) ←	
2001年2月	REACH(欧州・新化学品規制) 公表	2001年 環境省 生態影響試験事業での分散剤の使用制限
		2004年 化審法改訂 生態毒性試験追加

GD 23

## 目的 (範囲)

- ・水生生物の生態毒性試験において
- ・一般に試験困難と言われる物質の
- ・実用面で有効な試験のあり方を

記載

- ・結果の解釈
- ・分類、リスク評価

対象外

- ・適用できない物質

利用者(申請者、当局)との協議、合意が必要

## 試験困難物質とは

標準的な生態(水生)毒性試験手法に  
改良や追加を必要とするような  
……………な物質  
(考え方や評価も含む)

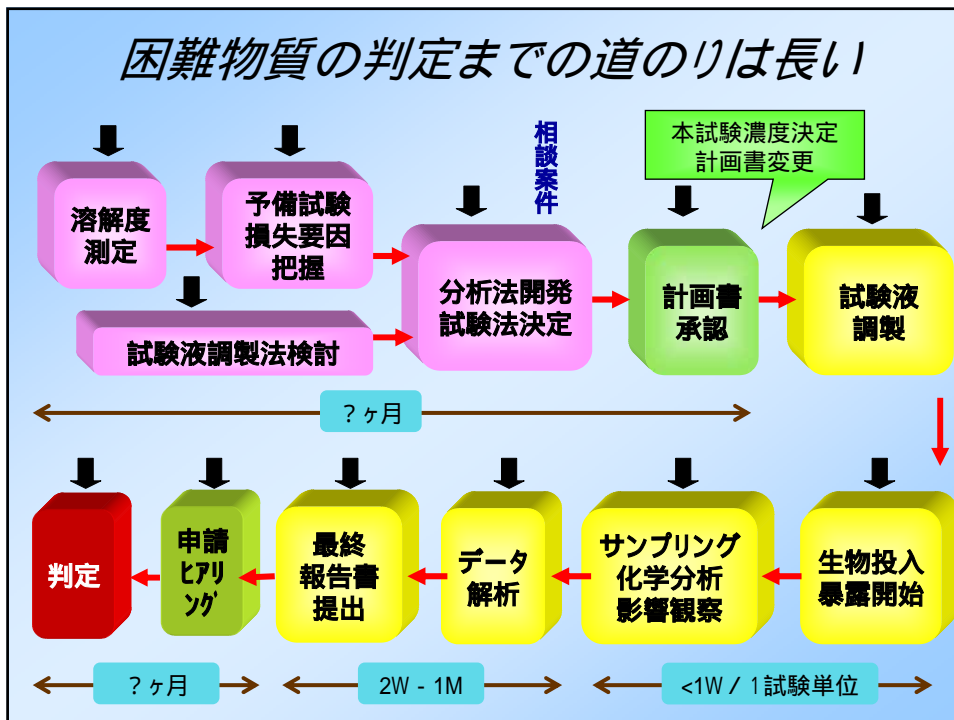
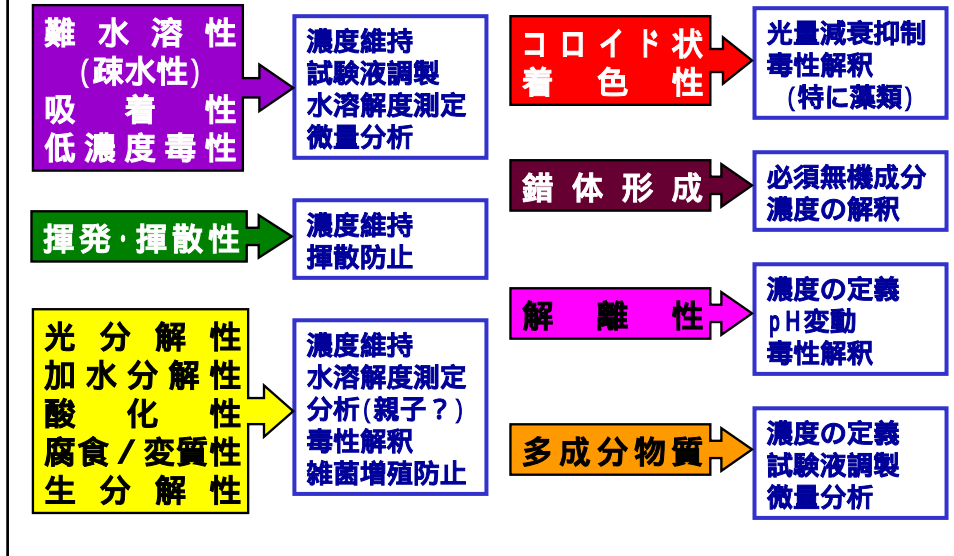
## 面倒な試験への対応法

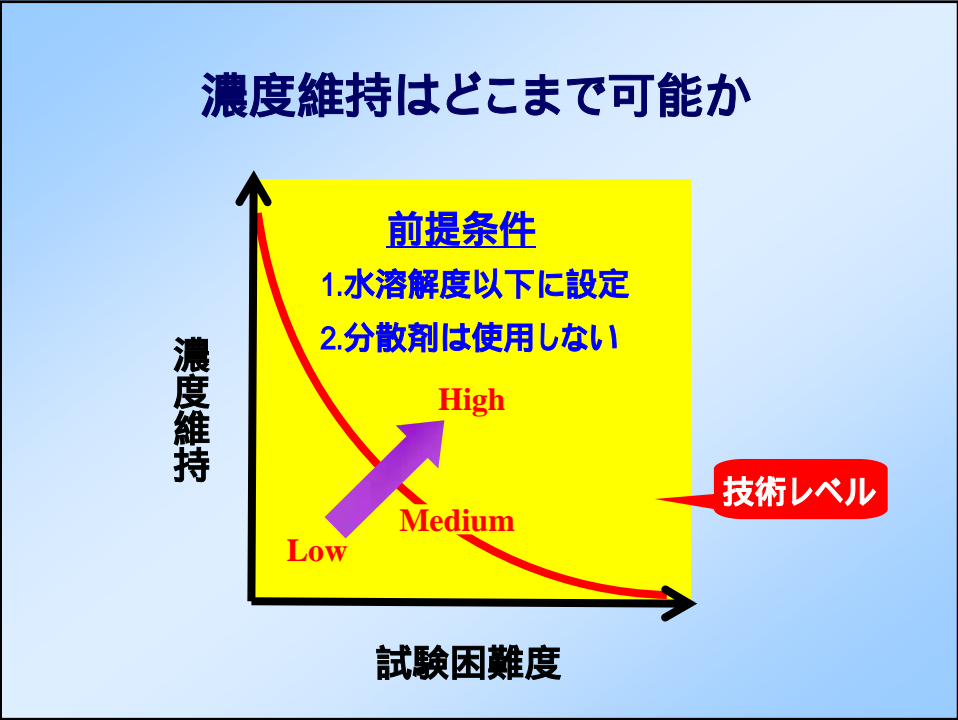
### 技術力をあげる

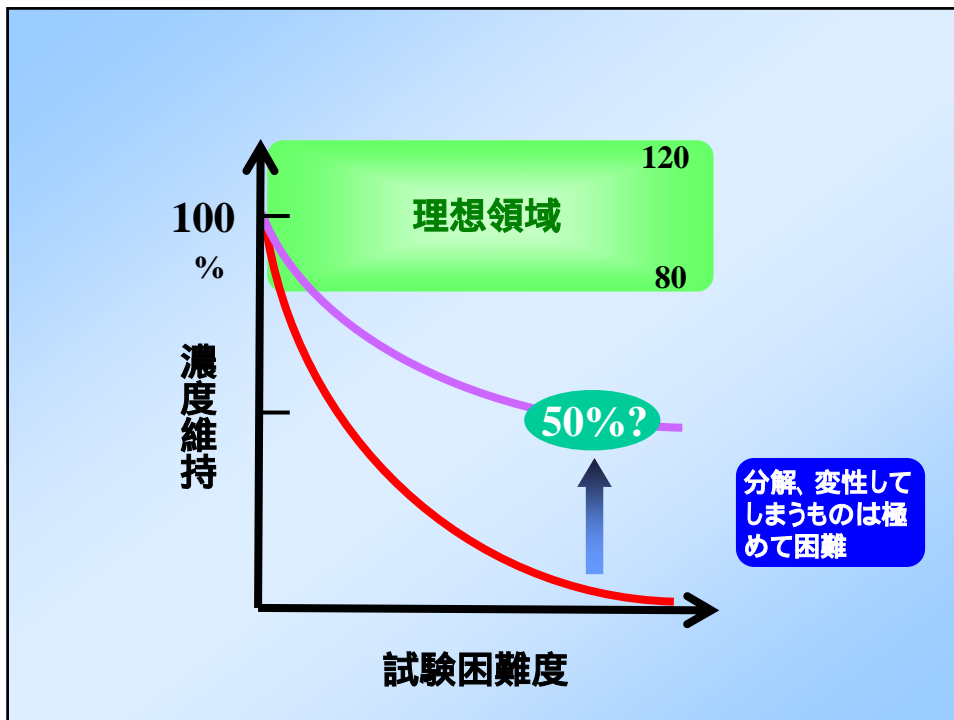
- ・効率的に技術力を上げたい
- ・国内外で通用したい
- ・過剰な試験要求は避けたい

### あきらめる

図1 化学物質特性と試験実施困難性との関連







## 2 - 3

### 試験困難物質への対応方法

#### 基本とした資料

- ・ OECD ガイダンス文書 No.23
- ・ ECETOC モノグラフ 26
- ・ OECD試験ガイドライン
- ・ 分散剤使用による毒性影響検討試験  
(環境省請負業務報告書(H13,14安科研))
- ・ REACH フォア-ザル 2003

## 目 次

<p>1 被験物質に関する情報調査 102頁</p> <p>2 試験条件下における安定性を調べるための予備試験 105頁</p> <p>3 難水溶性物質, 疎水性物質 108頁</p> <p>  3.1 試験水の調製方法の種類</p> <p>  3.2 混合方式</p> <p>  3.3 混合時間</p> <p>  3.4 直接添加法</p> <p>  3.5 水混和性溶剤を用いる方法</p> <p>  3.6 カラム溶出法</p> <p>  3.7 分散および乳化法</p> <p>  3.8 分析困難物質</p> <p>  3.9 測定濃度の算出方法</p> <p>4 揮発性物質 111頁</p>	<p>5 試験条件下で分解する物質 (光分解, 加水分解, 酸化, 生分解など) 111頁</p> <p>  5.1 光分解</p> <p>  5.2 加水分解</p> <p>  5.3 酸化</p> <p>  5.4 生分解(ここでは微生物分解)</p> <p>6 吸着性物質 113頁</p> <p>7 錯体形成物質 113頁</p> <p>8 着色物質 114頁</p> <p>9 イオン性物質 114頁</p> <p>10 多成分物質 115頁</p> <p>11 試験水分析のためのサンプリングスケジュール 115頁</p> <p>12 試験結果の算出 116頁</p>
---	--

